



6. 履修科目の受講について

6-1 授業の視聴期間と出席、遅刻・欠席について



授業の視聴期間は以下の通りです。慌てて視聴することがないように、計画的に取り組みましょう。

■春学期 2024年4月16日（火）正午～8月4日（日）

■秋学期 2024年10月10日（木）正午～2025年1月23日（木）

ネットの大学managaraは、出席、遅刻・欠席はありません。すべての授業動画を視聴、そして各科目によって課される小テスト等の課題、単位認定試験をクリアすることによって単位認定となります。

授業視聴・単位認定試験に関して、ガイドラインを定めています。ガイドラインに則った受講を進めましょう。

6-2 小テスト、レポート、トークボード等の課題及びアンケートについて

LMS（学習管理システム）にて、小テスト、レポート、トークボード等の課題やアンケートを行い、授業の習熟度を図ります。

- ・小テストとは

単一選択、複数選択、記述式で授業の習熟度を図ります。

- ・レポートとは

指定されたテーマ、字数に応じて学術的文章を考察することにより、授業の習熟度を図ります。

- ・トークボードとは

指定されたテーマに応じたディスカッション等を、学生同士で行います。

6-3 単位認定試験について

- ・一授業科目のすべての受講を終了した後に、当該科目の単位認定試験を受験できます。
- ・単位認定試験期間中のうち、自身が受験可能な日時に単位認定試験を受験してください。
- ・単位認定試験は必ず学生本人が一人で受験しなければなりません。試験中は、顔認証システムにより、受験者が当人であるかの確認を厳重に行います。

- ・単位認定試験は、授業評価の重要な要素ですが、成績評価は、単位認定試験結果だけでなく、小テスト、レポート、トークボード等の結果を含め、総合的に判断し付与されます。なお、各科目毎の成績評価方法については、授業科目のシラバスを確認してください。

【不正行為等について】

- ・単位認定試験受験中に他人がカメラに写り込んだ場合は、本学が特別な事情と認めない限り、不正とみなします。
- ・単位認定試験の内容を個人使用以外の目的でコピーすることは不正とみなします。
- ・試験問題や情報を他人に知らせることは不正とみなします。
- ・試験の秩序を乱す行為等は不正とみなします。

上記の不正行為を行った場合は、当該科目のみならず、当該学期に履修登録したすべての科目の単位を原則として取り消されます。

また、授業視聴・単位認定試験に関するガイドラインを定めています。ガイドラインに則った受講を進めましょう。

【単位認定試験受験時の注意点】

- ・単位認定試験のやり直しはできません。受験を完了していない（「提出ボタン」を押していない等）場合や、受験を中断した場合、試験は無効となります。
- ・受験する際には、必要な環境を十分に確認した上で、安定した通信環境で受験してください。

特に、以下のようなケースとならないよう十分に注意してください。

- ・通信状況が不安定で、インターネット接続が途切れた
- ・パソコン・タブレット・スマートフォンの電源が切れた
- ・試験の途中で、誤ってブラウザを閉じてしまった
- ・試験の途中で、スマートフォンに電話がかかってきた
- ・他のアプリが起動し画面が切り替わった

6-4 卒業レポートについて

卒業レポートは、演習科目である「専門演習Ⅰ」（3年次配当、必修）と「専門演習Ⅱ」（4年次配当、必修）において、経済学分野及び経営学分野に関する現代社会が抱える諸問題に対して、経済学的・経営学的な視点の分析を行うとともに、自らが立てた課題にそれらを適用し解決する能力を身に付けるための集大成のレポートです。詳しくは、3年次に進級した際、所属した分野の担当の先生から指導があります。

6-5 成績評価について

成績評価は、単位認定試験結果のほか、毎回の授業時に行う小テストの結果やレポートの内容、トークボード等の内容を総合的に判断し評価します。

- ・成績評価の評語及び評価点は以下のとおりです。

S	90点～100点
A	80点～89点
B	70点～79点
C	60点～69点
D	40点～59点
E	39点以下

S・A・B・Cを合格（単位修得）とし、D・Eを不合格とします。

<成績の評価要素>

①	小テスト
②	レポート
③	トークボード
④	その他、課題として課されたもの
⑤	単位認定試験

※また、授業科目ごとに評価基準は異なるので、シラバスを確認してください。

6-6 G P A (Grade Point Average) について

■ G P A 制度とは

G P A (Grade Point Average) 制度とは、履修登録した科目毎の評価（本学ではS、A、B、C、D、E、H）を4.0から0.0までの点数（GP：Grade Point）に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点で、アメリカの大学で広く採用されている世界に通用する成績評価システムです。

G P Aによって自分の学習効果を自分自身で把握することができるメリットがあり、本学では科目の履修にあたって、ただ卒業するのに必要な単位を取得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることを目的としてこの制度を導入しています。また、G P Aは卒業までの様々な選考の参考資料となりますので、各自のG P Aを常に意識し、学習計画を立ててください。

<成績評価基準およびG P>

判定	評価	点数	GP
合格	S	100点～90点	4.0
	A	89点～80点	3.0
	B	79点～70点	2.0
	C	69点～60点	1.0
不合格	D	59点～40点	0.0
	E	39点以下	0.0
	H	評価対象外	0.0

<成績評価基準およびG P>

判定	評価	点数	GP	備 考
G P 対象外	T	単位認定科目	—	他大学との単位互換や、 資格取得による単位認定 科目等
	W	履修中止	—	所定の手続を経て、履修 を中止したことを表す

< G P Aの算出方法 >

$$\begin{aligned} & S\text{の修得単位数} \times 4.0 + A\text{の修得単位数} \times 3.0 \\ & + B\text{の修得単位数} \times 2.0 + C\text{の修得単位数} \times 1.0 \end{aligned}$$

総履修登録単位数
(「D」「E」「H」の単位数を含む)

< G P Aの算出方法 >

- ①基本は全履修科目を算出対象とします。ただし、資格取得等単位認定科目（評価T）、入学前既修得認定科目（評価T）は、G P A算出の対象としません。
- ②G P Aは小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で、成績通知書、成績証明書に記載します。
 - ・成績通知書：学期毎のG P A、通算のG P A
 - ・成績証明書：通算のG P A

③ G P A の計算例 (1)

科目名	単位数 (a)	評点	評価	GP (b)	$a \times b$
〇〇学概論	2	95	S	4.0	8
〇〇史	2	85	A	3.0	6
□□学演習	2	50	D	0.0	0
□□概論	2	70	B	2.0	4
△△実習	1	90	S	4.0	4
計	9				22

③ GPA の計算例 (2)

前ページの成績の場合

(単位修得した授業科目の単位数 × 当該授業科目のGP) の総和 = 22

履修登録した授業科目の単位数の合計 = 9

$$\text{GPA} = 22 \div 9 = 2.4444\cdots$$

よって、GPAは2.44となります。

■成績発表

成績発表は、学期末に学生ポータルにて成績を閲覧できるよう発表をします。必ず確認し、次学期、次年度の履修に備えてください。

<2024年度の成績発表日>

春学期 2024年9月18日（水）

秋学期 2025年2月27日（木）

6-7 疑義照会

成績評価に疑問がある場合は、該当科目の疑義照会願を下記の日程内で申請することができます。

<2024年度の疑義照会願の申請期間>

春学期 2024年9月18日（水）

秋学期 2025年2月27日（木）

※上記の期間以外の疑義は一切認めません。

<申請方法>

申請方法は、成績発表（開示）のお知らせ時に合わせて連絡します。

6-8 やむを得ない事由が発生した場合

映像授業においては、やむを得ない事由による授業視聴期間以外の授業視聴や、単位認定試験受験期間以外の単位認定試験の受験は認められません。学習が十分に可能な授業視聴期間、単位認定試験受験期間を設定していますので、期間内に受講できるよう計画を立てて学習を進めてください。

6-9 再履修

単位修得できなかった授業科目を再度受講することを「再履修」と言います。再履修する方法は、次学期以降の履修登録時（当該科目の開講学期）に登録することで再履修が可能となります。特に注意しなければならないこととして、『必修科目』を落とした場合は、必ず再履修し単位修得しなければ卒業できません。必ず再履修登録し単位を修得してください。また、必修科目のほかにも、卒業に必要なルールがあります。「4. 教育課程」に記載している、＜卒業要件科目及び単位一覧＞を確認し、履修登録を行ってください。